

### (3) 歩留について

歩留には図のように3種類の歩留ロスがあります。

- ①技術ロスは、設計上・生産技術上の材料のロス
- ②製造ロスは製造工程での作業ミス、不良による材料ロス
- ③不良ロスは材料に含まれる品質不良によるロスです。

SHINの標準原価マスター上では、この3つの歩留ロスのうち原則的に①技術ロスについてのみ設定します。

②製造ロスは製造工程作業上でのミスによるものなので、原則的に良品の生産時には発生しないものとして考え、発生した場合は「数量差異」(不利差異)の対象となります。尚、工程完成品で不良品が発生した際は、工程不良品の原価として別途集計されます(非度外視法)。

③不良ロスは工程途中で発見された材料の不良による不使用ロス(返品不可)です。原則的に良品の生産時には発生しないものとして考え、発生した場合は「数量差異」(不利差異)の対象となります。

但し、上記②③のロスも生産技術上等の理由により、標準的に発生することが見込まれる場合、標準発生分として①に加えて「原単位」を設定することは出来ます。その場合、SHINは①②③のロスの区分設定は行えないので、適宜excel等で各歩留率を設定後、総合歩留率として設定します。

